

所蔵作品展

房総ゆかりの作家たち

特集・銅版画家・深沢幸雄を偲ぶ



深沢幸雄《若い歌声》昭和41年(1966) 千葉市美術館蔵

2019年3月9日 四 → 3月31日 日 [会期中無休]

会場 7階 展示室

開館時間 10:00~18:00(金・土曜日は20:00まで) ※入場受付は閉館の30分前まで

観覧料 一般200(160)円、大学生150(120)円

※小・中学生、高校生、県内在住の65歳以上の方および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

※()内は団体30名以上の料金

【同時開催】 第50回千葉市民美術展覧会 2019年3月9日(土)~3月29日(金)

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
Tel.043-221-2311(代) <http://www.ccma-net.jp>



1.



2.

所蔵作品展

房総ゆかりの作家たち

例年3月に開催される「千葉市民美術展覧会」が本年度で50回を迎えるのにあわせ、千葉市美術館の所蔵作品展を同時開催し、千葉の美術界を支えた先達たちを紹介します。

油彩の椿貞雄(1896-1957)、水彩の無縁寺心澄(1905-45)、日本画の横尾芳月(1897-1990)、版画の船崎光治郎(1900-87)、書の浅見喜舟(1898-1984)、陶の土肥刀泉(1899-1979)など、千葉の美術界に足跡を遺した作家たちによる多様な作品をお楽しみください。

特集：銅版画家・深沢幸雄を偲ぶ

市原市鶴舞に長く住まい、2017年に惜しくも逝去した銅版画家深沢幸雄(1924-2017)の仕事を回顧します。独学で銅版画の制作を始めた深沢は、メゾチントやエッチング、アクアチントなどを究め、それらを合わせることで多彩な表現を獲得し、銅版画の可能性を大きく広げました。本展では近年収蔵した希少な初期作品を含めてその軌跡をたどり、その功績を偲びます。



深沢幸雄《耳打ちをする人A》
昭和59年(1984)



3.



4.



5.

1. 無縁寺心澄《妙見様のサーカス》昭和49年(1974)
2. 土肥刀泉《瓊瑤釉彩花瓶》昭和49年(1974)
3. 横尾芳月《線香花火》大正(1912-26)中期
4. 関主税《刻》平成2年(1990)
5. 山谷鎮一《隣組休息》昭和18年(1943)
すべて千葉市美術館蔵



6.



7.

6. 浅見喜舟《眠雲聴泉》昭和51年(1976)
7. 榎谷扇舟《臨雁塔聖教序》昭和45年(1970)
すべて千葉市美術館蔵

【交通案内】

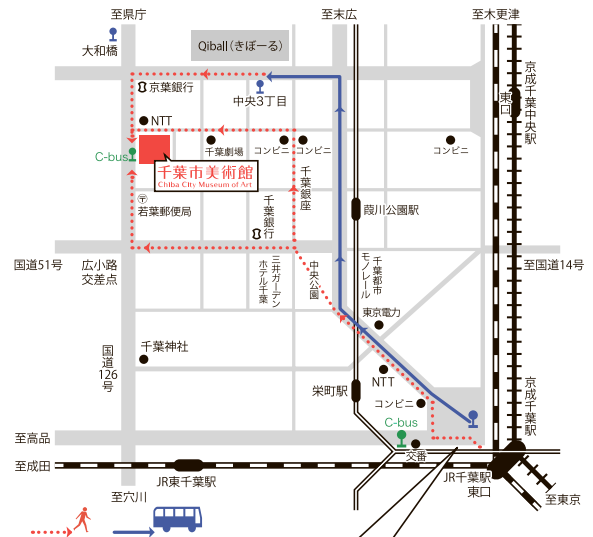
- JR千葉駅東口より 徒歩約15分/京成バス(バスのりば7)より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分/C-bus(バスのりば16)にて「中央区役所・千葉市美術館前」下車/千葉都市モノレール県庁前方面行「葦川公園駅」下車徒歩5分
- 京成千葉中央駅東口より 徒歩約10分
- 東京方面より車では 京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚C下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く
*地下に、区役所と共用の機械式駐車場があります。(無料)
*車高155cmを超える車の駐車スペースが少ないためお待ちいただくことがあります。
*混雑時はご不便をおかけすることもありますので、公共交通機関でのご来館をお願いします。

【次回展予告】

2019年4月13日(土)~5月26日(日)
「オー・バリン大学 アレン・メモリアル美術館所蔵 メアリー・エインズワース浮世絵コレクション
—初期浮世絵から北斎・広重まで—
所蔵作品展「ピーター・ドラッカー・コレクション水墨画名品展」

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
Tel.043-221-2311(代)
http://www.ccma-net.jp



C-bus 時刻表	
千葉駅東口	千葉市美術館前
9	30 44
10	00 30 14 44
11	00 30 14 44
12	00 30 14 44
13	
14	30 44
15	00 30 14 44
16	00 14
17	00 30 14 44
18	00 30 14 44
19	00 14

